

# N/S高等学校 Slack 利用ポリシー

## ■SlackはN/S高校生・教職員・関係者全員のコミュニケーションツールです

N/S高Slack(以下、アプリなども一部含み総称して「Slack」といいます)は N/S高等学校(以下、「当校」といいます)の生徒・教職員・関係者(以下、別途明記がないかぎり総称し「利用者」といいます)が連絡や交流に利用する目的で、学校が用意したコミュニケーションツールです。

当校の関係者であれば誰でも自由に利用することができますが、利用にあたっては、本ポリシーの内容すべてに同意した上で利用するものとします。

## ■Slack上でのメンション・通知・リマインダは適切に利用します

生徒の皆さんによるメンション・通知やリマインダの利用は、学校活動上の告知や、集合をかける合図として活用することができます。

しかしながら、過度な通知や、多くの方にとって不要な通知を行ってしまった場合、学校からの大切な情報が探しにくくなり、各チャンネル上での適切なコミュニケーションが成立しなくなってしまうことがあります。そのため、生徒の皆さんが行う各種機能の利用については次の表の通りとします。なお、ここに記載がないチャンネルであっても、当校から別途指示があった場合、それに従ってください。

### <コマンド>

@channel … オンライン/オフラインにかかわらずそのチャンネル全員に通知する

@here … そのチャンネルのオンライン中のメンバーにのみ通知する

リマインダ … 指定時刻や条件などを設定し、条件に当てはまったら自動的にBotからメッセージを表示させる機能

※「@everyone」は教職員のみ利用可能。

### <氏名・表示名>

「mentor\_」「staff\_」「teacher\_」「ta\_」は教職員のみ使用可能。

### <各種通知利用の条件について>

チャンネル名・条件	@channel の利用	@here の利用	リマインダの利用
入室者10名以上のチャンネル	オーナー、またはオーナーや教職員から許可を得た者のみ可		
入室者10名以下のチャンネル	可 ※教職員から別途指示があった場合はそれにそって対応すること		

## ■生徒は互いに自主性を尊重し、問題は当事者間で解決します

Slackを利用する当校生徒は、その投稿内容に対して権利と責任をもっています。

そして、お互いに権利と責任を認め、自主性を尊重し合わなければなりません。

したがって、自らの投稿内容には常に責任が伴うことを自覚し、もし自分の投稿した内容によって誰かを傷つけたり、トラブルを引き起こしたりするなどの問題が生じた場合でも、当事者同士で解決することを原則とします。

## ■チャンネルのルールはオーナーによって定めます

Slackでは趣味や話題など、自由なテーマでチャンネルを作成することができます。

作成したチャンネル内では参加者によって思い思いのコミュニケーションが行われますが、チャンネル内で“推奨する話題”や“控える話題”などといったルールについては、そのチャンネルを作成したオーナーが定め、参加者はそのルールに従います。

## ■投稿する内容は無制限ではありません

Slackへの投稿は基本的に自由ですが、一部、掲載を認めないことがあります。

特に、以下のような投稿については、教職員の判断によりコメントやチャンネルを削除する場合があります。

### <犯罪、違法行為に当たる投稿>

例)・日時、場所、方法を示し、他人に危害を加えることを予告する

・売春や援助交際を求める

<他者の権利を侵害する投稿>

- 例)・他者の名誉や、評判を傷つけるような表現を含む投稿
- ・事実であるか否かを問わず、他者の社会的評価を低下させるような内容を含む投稿
  - ・承諾なしに他者のプライベートな内容を含む投稿を行う等、他者のプライバシーを侵害する投稿
  - ・他者が作成した絵や音楽等を無断で掲載するなど、著作権等の知的財産権を侵害する投稿
  - ・他者の顔や身体が写った写真や動画等を無断で掲載するなど、他者の肖像権を侵害する投稿
  - ・他者の基本的人権、その他の権利を侵害する投稿

<公序良俗に反する投稿>

- 例)・性的な投稿
- ・暴力的な投稿
  - ・自殺を勧める、誘う、手伝うなど、自殺への関与に相当する投稿

<他人を不当に傷つける投稿>

- 例)・誹謗中傷、侮辱、脅迫、いやがらせを含む投稿
- ・不快感、嫌悪感、精神的打撃を与える、あるいはその恐れのある投稿

<他人の利用を不当に妨害し、またはその支障となる投稿>

- 例)・スパムメールやコンピュータウイルス、またはそれに準じる投稿
- ・過剰な連投やマルチポストによって無用に負荷をかける投稿

<ハラスメントに関する投稿>

- 例)・特定の個人に対する執拗なDM
- ・不特定のメンバーに対する連投やマルチポスト

<個人情報や校内情報を漏えいまたは拡散させる投稿>

- 例)・他者の個人情報を含む、あるいはその恐れのある投稿
- ・他人の名義を名乗る、組織名を偽る等のなりすまし行為による投稿
- ※Slackのチャット内容等をSNS等の外部へ公開する行為も含まれます

<その他、当校教職員が不適切と判断するもの>

■データの取り扱いについて

当校は、当校が管理するワークスペース上に登録された情報や、投稿されたデータについて、各種法令の許す範囲内で、閲覧や削除、匿名化等の加工、第三者への開示を行うことができます。

- ・学校活動や各種イベント等に関するご案内のため
- ・個別のお問い合わせへの対応や、ご案内を行うため
- ・教育サービスの品質を維持し、向上を図るため
- ・不適切な利用を調査、防止するため
- ・法的機関からの要請に応じるため
- ・本学園の広報活動のため
- ・本学園が提供するサービスに関連した教育コンテンツ作成のため
- ・上記の利用目的に付随する利用目的のため

なお、DMやプライベートチャンネルのログなど、一部のログについては、本ポリシーが改訂された2023年4月1日以降に投稿されたもののみ、上記取り扱いの対象とします。

■各種対応について

本ポリシーに反する行為が確認された場合、当校の自主的判断により、チャンネルの削除や、登録したアカウント情報の停止・利用制限、削除を含む対応をおこなうことがあり、制限には下記の種別があります。

対応制限種別

チャンネル削除	作成したチャンネルの削除を行います
利用可能チャンネル制限	利用可能なチャンネルを制限します
一時停止	アカウントを一時停止し、期間を定め利用不可とします
無期限停止	期限の定めなく、利用を停止します。

■学校が行う処分等について

Slackは、学校活動の一環です。本利用ポリシーに反する行為があった場合、学校の指導に従わなかった場合は、注意、停学、退学処分等を行うことがあります。その際、処分は正式に記録され、就職・進学の際に必要な調査書等に記載されることがあります。

また、外部SNSやブログ等を通じたSlack以外のインターネット上での活動においても、本利用ポリシーに反する重大な行為が認められた場合、同様の対応を行うことがあります。

■免責事項

当校は、Slackに掲載される情報の正確性、合法性、道徳性、最新性、適切性等について何ら保証するものではありません。

2016年06月21日制定

2017年11月15日改定

2018年10月30日改定

2021年04月01日改定

2022年04月01日改定

2023年04月01日改定